

内外壁

イサム 防藻・防カビ
塗装システム

イサム藻除去剤

イサムカビ除去剤

イサム防藻・防カビ添加剤

藻・カビの攻撃から 人と建物を守る。



ISAMU PAINT

建物の藻・カビを甘く見たら大変です。

カビは有害な物質を出して、塗膜破壊と下地の劣化を引き起こします。

また「ぜんそく」やアレルギー性疾患の原因となるなど、健康面にも悪影響をおよぼします。

藻もカビの育成を助けるとともに美観ばかりでなく、建物の資産価値を脅かす下地の劣化を進行させます。

イサム防藻・防カビシステムはこのような不安と不快感の解消に役立ちます。

イサム 防藻・防カビ 塗装システム

特長

1 藻・カビを除去し強力な防藻・防カビ効果で人と建物を守ります。

新開発の藻・カビ除去剤が、発生した藻・カビを殺菌除去し、「イサム防藻・防カビ添加剤」を塗料に混入することで、強力な防藻・防カビ塗料としての効果を発揮します。

2 必要性に合わせた現場混入方式だから便利で経済的です。

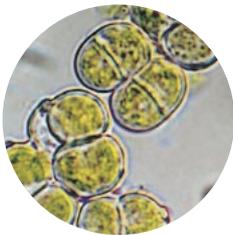
発生する場所や程度に合わせ、必要量を必要な塗料に添加できる現場混入方式です。用途に合った塗料が、簡単に強力な防藻・防カビ塗料となり、効果を発揮します。

- 水性塗料用と溶剤系塗料用があります。
- イサム防藻・防カビ添加剤を混入した塗料缶には「専用のステッカー」を貼ってください。



温暖多湿の日本は、湿気の大好きな藻やカビにとって最高のすみかです。そこで、早急な対策が必要とされるのです。

藻の発生した外壁

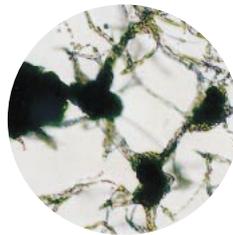


顕微鏡写真 1200倍



藻発生現場

カビの発生した内外壁



顕微鏡写真 400倍



カビ発生現場

藻の種類	色	繁殖場所
クロレラ	緑 暗緑	外 壁 (湿気がある場合や 樹木が近くにある 場所)
ブレウロコッカス		
ウルソリウス		
オシラトリア		
クロロコックム		
ノストック		

カビの種類	色	繁殖場所・被害状況
クラドスポリウム属	黒	タイルの目地、コーキング、ビニルクロス、塗装面、接着剤などに発生。
ベニシリウム属	黄・緑・褐	通称「青カビ」。クロス壁紙、石膏ボード、合板を変色。
トリコデルマ属	緑	しっくい、コンクリート、塗装面、ビニルクロスなどに発生。ぜんそくを引き起こす。
アルタナリア属	黒灰	塗装面とビニルクロスの表面に多く見られ、発育が旺盛。ぜんそく、アレルギー性疾患を引き起こす。
フザリウム属	赤・紫・黄	通称「赤カビ」。ビニルクロス塗装面などに繁殖。土壌菌の代表。
アスペルギルス属	黒・緑	通称「こうじカビ」。ビニルクロス、塗装面に発生。食品工場内部でよく見られ、発癌性を持つものがある。
オーレオパシディウム属	黒	エタノールを好む性質を持ち、醤油工場、酒造工場などの内外壁に多く発生。

藻・カビの発生する建物の内外部場所

用途

- 風通しの悪い湿った場所
- 日当たりが悪く、湿気の多い壁
- 樹木がかぶさった建物
- 酵母剤などを取り扱う工場 他

住宅・マンション・食品工場・厨房・病院 など



使用方法

殺菌処理	
藻の処理液 → イサム藻除去剤	カビの処理液 → イサムカビ除去剤
藻の発生した壁面に イサム藻除去剤 を水で希釈後塗布し、数時間放置後、水洗いしてください。 水道水で2～3倍にうすめて使用 ▶	カビの発生した壁面に イサムカビ除去剤 をそのまま塗布し、数時間放置後、水洗いしてください。 このまま使用 ▶



水性用	イサム防藻・防カビ添加剤	溶剤用
	各指定塗料石油缶（15～20kg位）にイサム防藻・防カビ添加剤180g（1本）を添加し、攪拌機にて十分に攪拌してください。	

塗装仕様

	塗り替え工事		新築
	藻	カビ	藻・カビ
下地調整	下地調整にもとづき処理する		PH10以下、含水率10%以下、ホコリ、ヨゴレなどの掃除
殺菌	イサム藻除去剤を塗布（ローラー・ハケなど）水道水で2～3倍に希釈	イサムカビ除去剤を塗布（ローラー・ハケなど）希釈ナシ	↓
洗浄	高圧水洗		
下地の乾燥	24時間		
下塗り	指定下塗り剤		
上塗り	*指定塗料+イサム防藻・防カビ添加剤		*指定塗料+イサム防藻・防カビ添加剤

*指定塗料 [溶剤系塗料 → ネオシリカシリーズ、ハイアートシリーズ、アトロントップニュー 他
 [水性塗料 → アクアシリカシリーズ、アクアートシリーズ、ヴィビーテックス、アクアートミクロ、リシン 他

荷姿

除去剤	イサム防藻・防カビ添加剤
イサム藻除去剤……………4kg（ポリ容器入り）	溶剤用……………180g（ビン入り）
イサムカビ除去剤……………4kg（ポリ容器入り）	水性用……………180g（ビン入り）

各種防藻・防カビ塗料の試験結果

塗料名	イサム防藻・防カビ 添加剤	無 添 加		添 加	
		藻	カビ	藻	カビ
ハイアート #1000	溶剤用	+++	+++	—	—
ハイアート #4000	溶剤用	+++	+++	—	—
ネオシリカ #1000	溶剤用	+++	+++	—	—
ネオシリカ #4000	溶剤用	+++	+++	—	—
アクアシリカ	水性用	+++	+++	—	—

- 試験評価基準
- ：試験片に発生が認められない。
 - ＋：試験片に、全体の1/3以下の発生が認められる。
 - ++：試験片に、全体の2/3以下の発生が認められる。
 - +++：試験片に、全体の2/3以上の発生が認められる。

■試験片の作成

添加剤を入れた塗料を、脱アルカリ処理したスレート板に塗装し、よく乾燥する。

作成したテストピースを、サンシャインウェザーメーター試験機に500時間照射したのち、供試板とした。

防藻試験方法

無機塩寒天上の中央に試験片を乗せ、試験片上に供試菌の懸濁液を浸透させた滅菌済のペーパーディスクを一定の個数置く。

25±1℃の陽光定温培養器中で28日間培養後試験片上の藻の発生を調査する。

【供試菌】

Chlorella・Hormidium・Anabanaの混合菌

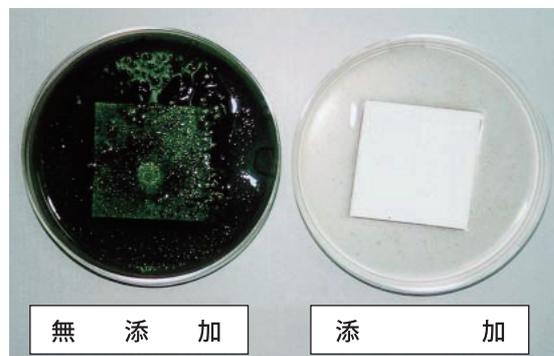
防カビ試験方法

JIS Z 2911に準じる試験方法。

※試験片を平培養器に中央に張り付け、カビの混合孢子懸濁液を均一にふりかけ、28±2℃で1週間培養する。

【供試菌】

Aspergillus niger・Penicillium funiculosum・Aureobasidium pullulans・Gliocladium virens・Cladosporium cladosporioidesの混合菌



試験塗膜：水性用塗料

使用上の注意事項

- 各材料は直射日光、熱源、水を避け、冷暗所に保管してください。
- 取り扱い中は必ずゴム手袋、保護眼具、保護マスクなどを着用し、換気にも十分注意してください。
また、皮膚に触れたり目に入った場合は速やかに水道水で洗い流してください。
- 除去剤**を取り出す容器には金属容器は絶対に用いないで、必ずポリ容器を用いてください。
- 除去剤**を使用する刷毛の材質は、必ず合成繊維を使用してください。
- 除去剤**は危険ですので、指定された以外の物質とは絶対に混ぜないでください。
- 除去剤**は水質や環境に影響があるので、河川や地面などには廃棄しないでください。
- 藻除去剤**は殺菌剤です。周囲に飛散すると付着した草木が枯れる場合があるので、除去作業には十分注意してください。
- イサム防藻・防カビシステムについてご不明な点がございましたら弊社までご相談ください。

安全にご使用いただくためのお願い

このカタログに掲載の商品を取り扱う際は、各商品の容器に表示されている警告文をお読みのうえ、注意事項をよく守ってください。特に、イサム防藻・防カビ添加剤溶剤用および溶剤系塗料は、引火性および有害性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。また、詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)を参照してください。



イサム塗料株式会社

事業部 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 ☎06(6308)1365 FAX06(6308)5581 札幌出張所 〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条3-11-13 ☎011(893)8035 FAX011(893)8036
 東京支店 〒174-0042 東京都板橋区東坂下1-16-7 ☎03(3969)2131 FAX03(3969)2137 仙台出張所 〒981-3201 仙台市泉区泉ヶ丘1-20-23 ☎022(375)1367 FAX022(375)2812
 名古屋支店 〒452-0824 名古屋市西区こも原町82 ☎052(502)0136 FAX052(502)0174 横浜出張所 〒232-0016 横浜市南区宮元町3-51 ☎045(715)7462 FAX045(715)7463
 大阪支店 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 ☎06(6308)1363 FAX06(6308)1348 広島出張所 〒733-0012 広島市西区中広町1-5-17-2 ☎082(291)1234 FAX082(295)6138
 福岡支店 〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町大字仲原字高原2777-1 ☎092(611)1360 FAX092(623)8430 滋賀工場 〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-2-1 ☎077(562)1360 FAX077(562)1364